

令和2年4月8日

新入生の皆さんへ

東京学芸大学附属世田谷中学校

校長 福本 みちよ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は、この4月から本校校長に就任しました福本みちよです。新入生の皆さんと同じく、この4月から本校校長としての新たなスタートを切ります。どうぞ、よろしく申し上げます。

本来であれば、夢と希望に満ち溢れた新入生の皆さんを、学校全体で盛大にお迎えできるよう入学式等々の準備を重ねてきたのですが、皆さんご承知のように、現在、日本各地、世界各地で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、学校はこの脅威から皆さんを守ることを第一優先にしなければならない状況にあります。皆さんが心待ちにしていた中学校生活のスタートとは異なる形になってしまったことと思いますが、東京学芸大学附属世田谷中学校の一員となり、中学生として新たな第一歩を踏み出したことに違いはありません。その自覚をしっかりと心に留めてください。

中学校は義務教育最後の3年間です。これからの3年間は、自分の可能性を大きく広げる非常に大切な時期です。この中学時代の夢や体験が、将来につながっていくはずで、また、一生の友人を得る時でもあります。多様な価値や考え方をもちた友人と協力し、共に創りあげていく喜びを知ることも、自分を成長させていくために大切なことです。

何より、充実した中学校生活は、先生や家族から一方的に与えられるものではありません。自らの学びは、自らの意思と意欲でいかようにもその幅が広がっていきます。つまり、求められることは自らの「主体性」です。本校は、皆さんが自ら学ぼうとする意欲に応えられるよう、深みのある授業、多様な学校行事を用意していきます。これから、是非とも日々の授業や学校行事には主体的に関わってください。そこで身に付けた力は、将来、世界に羽ばたいていくための大きな原動力となっていくはずで、

また、本校の教職員は皆さんが充実した中学校生活を過ごせるよう、一丸となって皆さんの手助けをしていきます。時には、思い通りに進まないこと、心配なこと、困ったことが起こるかもしれません。そんな時は一人で悩まず、どうぞ遠慮なく相談してください。

しばらく自宅で過ごしていただくこととなりますが、この時間を皆さんはどのように過ごしますか。私は是非、皆さんには「この時間があるからこそできること」を見つけ、積極的に「今だからできること」を探求する時間にしてほしいと願っています。

今、一人一人が自分の行動に責任を持つことが求められています。それは、大人も中学生も同じです。自分が何をすべきか、自分でしっかりと考え、東京学芸大学附属世田谷中学校の一員としての自覚をもって生活してください。

5月に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。